

景観まちづくり授業

～授業のねらい～

景観の維持・継承や改善・創出には、長い時間が必要であり、また、景観まちづくりは、多くの人たちの自覚に基づく主体的な関与が必要です。そのため、その推進には一人ひとりが景観や景観まちづくりに対する意識の啓発や知識の普及が重要となります。より良い景観形成を行っていく上で、それぞれの町や地域にふさわしい景観まちづくり学習を行う必要があります。



景観まちづくり授業風景

「景観まちづくり授業」は、「景観」をテーマにした授業を学校教育の中に取り込むことにより、将来の景観形成の担い手である中学生に対する興味や関心を喚起し、景観学習を通じて知識の習得を行うとともに、自分たちの地域について考え、郷土愛の醸成を図ることを授業のねらいとします。

過去の開催事例

- | | | |
|----------------|-----------|------|
| ・平成24年6月28日（木） | 高鍋西中学校1年生 | 92名 |
| ・平成24年7月 6日（金） | 高鍋東中学校3年生 | 116名 |
| ・平成25年7月12日（金） | 高鍋東中学校1年生 | 113名 |